

かがくCH

カガクチャンネル

Vol. 12

Hokkaido University of
Science High School

豊流 | horyu



NEWEST

新校舎完成

見たことのない、
春がはじまる。

2022年度 後援会・PTA活動報告

今年度は以前の日常が少しずつ戻りながらも、北海道のコロナ患者数が過去最高を記録するなど、バランスが求められる1年となりました。また新校舎が完成し、中学3年生に対し、11月の学校見学会を新校舎で行うことができました。想定を大きく上回る約1,400名の申し込みがあり、新しい学び場に対する大きな期待を感じ、良い準備で4月を迎えたいと考えています。

本校では外郭団体である後援会・PTAからさまざまな支援を受け、行事を実施しております。昨年度以上に生徒会・生徒の皆さんが創意・工夫し、学校祭や体育大会において、制限がある中「今できること」を楽しんでいる姿が多くみられました。また、部活動などでも全国・全道常連部活動のみならず、多くの部活動が過去の結果を上回る取り組みを見せてくれています。また、部活動にない課外活動を頑張っている生徒も多く、ダンスやAGG(器械体操)、スノーボード、アイスホッケー、モーグルなど、世界を舞台に頑張っている頼もしい報告を多数受けています。

来年度は新しい環境で前例踏襲ではない「何ができるか」を皆で考え、生徒一人ひとりの成長や地域の笑顔に貢献していきたいと考えています。これからもご協力のほど、よろしくお願いいたします。

2022年度 後期の活動 (一部予定)

- 1月～ 高大連携探究活動
(発展) **2年生**
※後援会による活動補助
- 2月～ 卒業生・在校生への
プレゼント
※PTAによる補助
- 3月～ 高大連携授業
(大学での模擬講義)
1年生
※PTAによる活動補助



中の島での教育活動も、残りわずかとなってしまいましたが、豊平区中の島に育てられた学校として、これまで続けてきた取り組みをコロナ禍での制限はありましたが、行うことができました。

今年度も後援会主催で20年以上継続しているスポーツ文化教室を5つの部活動で実施することができました。また、「おもしろ理科教室」を夏休み中に対面で実施し、50名以上の子どもとその保護者が参加し、達成感ある笑顔に出会うことができました。

感染防止対策のため、全校生徒で行うことはできませんでしたが、町内のゴミ拾いを有志で行うことができました。また、平岸での活動となりましたが、北海道マラソンの給水ボランティアとして100名の生徒が奮闘しました。そして1月には「アイスクャンドル大作戦」を久しぶりに開催することができました。大寒波・大雪の影響を受けましたが、町内会の皆様と生徒会・部活動の協力を得て、最後の年に復活させることができました。

1956(昭和31年)から、ここ豊平区中の島で66年間地域の皆様に育ててもらい現在に至っています。学校の所在は手稲区前田となりますが、北海道、札幌という地域の発展のため、ここ中の島での経験を活かし、地域に貢献し、愛される学校でありたいと考えています。本当に長きにわたり、さまざまな面でお世話になりました。ありがとうございました。



※本誌作成にあたっては、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で取材・撮影を実施しております。

かがくCH vol.12/2023.2月発行

北海道科学大学高等学校

〒062-0922 北海道札幌市豊平区中の島2条6丁目2番3号
TEL: 011-821-0173 FAX: 011-823-6370
HP: <https://hs.hus.ac.jp>

+Professional

ヒューマンティ、コミュニケーション能力、問題発見・課題解決能力、マネジメント能力といった基盤能力を基に、専門性を身につけた人材を育成します。
すべての設置校に共通する、わたしたちのスローガンです。

黙北海道科学大学
北海道科学大学
北海道自動車学校
北海道科学大学附属薬局

企画編集・発行: 北海道科学大学高等学校 後援会

英語担当
林祥史先生



民間企業や大学院での
研究生生活を経て、
2022年春に着任

教員歴
初年度!

- Q 趣味・特技
プロレス、相撲、絵を描くこと、ピアノ
- Q 出身地のふるさと自慢は?
愛知県稲沢市の出身です。鳥山明がご近所で夏にはジェシー率いる東関部屋が来ます
- Q 高校時代のエピソードを教えてください。
高校の同級生は私をこの上なく平凡な人間だったと口を揃えて言っています
- Q 小さなころの夢
誰も見たことのないところ、遠いところに行きたかったです
- Q 無人島にひとつだけ持っていくな?
オカリナ
- Q 先生の授業のセールスポイントを教えてください。
笑顔です
- Q 休日はどんなふうに過ごしてる?
家電量販店でオルガンを弾いています。ユーミンと福山雅治と、長州のパワーホールです

先生からのメッセージ

思い出は魔法だと思います。どんなに遠く離れていても繋がっている終わりに開く扉があって、どんなに短い間でも、ありふれた朝でも、思い出は魔法です。たとえ一度の短い出会いでも、たった一言のコトバの切れ端でも、それが生きる支えになります。

座右の銘

やれば、できる
(小柴昌俊)



先生の学生時代

フィンランド・ヘルシンキの大学院に約4年間在籍し、比較言語学という研究に取り組んでいた経歴を持つ林先生。

私たちが教

えています!

英語担当
沢谷紀香先生

教員歴
初年度!

大学卒業後、
2022年春に着任



- Q 趣味・特技
海外ドラマ視聴
- Q 出身地のふるさと自慢は?
北海道札幌市出身です。道内には、良い温泉地がたくさんあります
- Q 小さなころの夢
看護師 (自分が文系だと気づき諦めました)
- Q 無人島にひとつだけ持っていくな?
Vision Quest
- Q 高校時代のエピソードを教えてください。
部活動で、冬は1日10キロ走っていました(笑)。4歳から大学時代までテニス一筋。北科大高でもテニス部顧問です!
- Q 先生の授業のセールスポイントを教えてください。
話す・読む・聞く・書くを鍛えるさまざまな活動を行うことで、飽きさせないことを目標にしています
- Q 休日はどんなふうに過ごしてる?
学生時代に戦っていた仲間とテニスをする

先生からのメッセージ

私は「二兎を追うものだけが二兎を得る」と思っています。叶えたい夢や成し遂げたい目標があるなら、全力で追ってみてください!

座右の銘

「虚」のかっこよさより、「実」の熱さ

先生の学生時代

テニスで全国大会にも出場していた沢谷先生。長いプレイヤー経験を生かした、具体的な指導を意識していきたい!とのこと。

スクールカウンセラー・森一生の 誌上相談室

今回のテーマ 我慢することは
良いこと? 悪いこと?

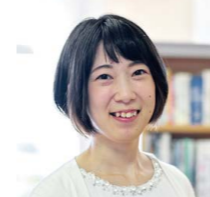
小さい頃から親に「それくらい我慢しなさい!」と言われてきた人は多いと思います。当然我慢しなければいけない場面もあるでしょう。例えば、経済的に余裕のない時に高価なものが欲しくても、当然我慢しなければなりません。また、「試験が終わるまで友達と遊びに行くのは我慢する」「この問題集が終わるまでスマホを見ない」など自分のために自分で設定する我慢は、好ましいことだと思います。しかし、すべてに対して「我慢しなさい!」と言われて続けてきた人は、多くの物事に対して「我慢する」ことが必然となっている

のではないかと思います。そのことで精神的なことまで「我慢しなければいけない」と思っていないですか? それは違います。自分がつらい時「こんなことでSOSを出してもいいのかな?」と不安に思うことは誰にでもあると思いますが、それは日本には「耐えた人が偉い」という我慢文化のようなものがあるからだと思います。つらい時に、自分のことを客観的に見て状況を人に伝えるということは、生きる上でとても重要なスキルの一つです。限界ギリギリになる前に、「私、今困っているよ」とSOSのサインを出せるようになってほしいと思います。勇気をもってSOSを出してみたら、誰かが助けてくれたり、解決方法を教えてくれたり、思った以上に簡単に解決することはよくあることです。もし、我慢をして「しんどいな」と思ったら、「その我慢は誰のため? 自分のためになる?」と振り返ってみましょう。本校には相談する窓口が複数あります。我慢しないで積極的に活用してください。



図書室から。

西川のワタシの一行



事務室
西川 小織さん

なんで水には色がないの?

著者:五百田 達成 出版社:文響社

皆さんは、どうして水に色がついていないのか知っていますか? 日々の暮らしの中で浮かんで消えるような些細な疑問というのは際限なくあって、私はその正体を突き詰めずにふわっと生きてきたので、振り返ってみると今もたくさん知らないことがあります。本書は、タイトルの「なんで水には色がないの?」をはじめ、「風はどこから吹くの?」「石油王って誰?」「ここはどこにあるの?」など、誰もが一度は考えたことがあるような素朴な疑問を丁寧に解説した雑学の本。子どもはもちろん大人も楽しく学べる1冊です。私たちが子どもだった頃よりもずっと多くの情報が溢れる時代です。自分が知りたいこと、知っておいた方がいいこと、知らなくてもいいこと。好奇心を忘れず、上手に情報や知識を取捨選択できる人に成長してほしいと思います。

好奇心こそが、
毎日を輝かせる
スパイスとなる。



海外研修が再開! カナダ異文化研修 & オーストラリア語学研修に 行ってきました!!!

コロナ禍のため、長らく実施を見送ってきた海外研修を今年度から再開しました。海外研修の実施にあたっては、事前研修を十分にを行った上で、保護者の皆様や現地スタッフの皆様、ホストファミリーの皆様など、関わってくださったたくさんの方の協力を得て、実りある研修を行うことができました。海外生活を満喫してきた生徒たちの笑顔と声をご紹介します!

カナダ異文化研修

2023年1月15日(日)▶▶23日(月)

カナダ・バンクーバーでの語学研修・異文化研修に向かった11名の生徒たち。現地では、ブリティッシュコロンビア大学に訪問し、大学生とのグループワークを実施。同世代の若者たちとの交流や討論を通し、自分の将来を考えるきっかけになったようです。語学研修の合間に、バンクーバー市内でのショッピングや観光スポットを満喫しました。

大学生と一緒にプレゼン資料を作ったのが楽しい思い出。英語でも意見交換ができました。 土島もえみさん (進学コース2年)

日本では英語は勉強する科目だけど、海外ではホームステイ先の家族とのコミュニケーションツールだと実感! 山内 莉緒さん (進学コース2年)

ホームステイ先の家族とのおしゃべりを楽しく、料理好きのマザーの手作りピザが美味しかった! 照谷 美思さん (特別進学コース1年)

進学して、新しいことに挑戦したかったのが参加の理由。自分の英語が通じたことが収穫! 根本 航歩さん (特別進学コース1年)

中学の時に家族で海外旅行した時はニコニコするだけだったけど、今回は英語で会話ができた。 平山 真愛さん (特別進学コース2年)

ブラジル人とイタリア人の友達ができ、今もインスタで交流中。雪の家裏が喜ばれました。 大坂 陸人さん (進学コース1年)

現地の大学生と会話できて楽しかった。自分の英語でも会話できると実感した。 金田 海誠さん (特別進学コース2年)

レトロな街並みと蒸気時計が印象的な「ガスタウン」で、1年女子チームでショッピングしました。 仲泉 翔万喜さん (進学コース1年)

マイアミ味のお菓子とか、いろんな土産を買いました。一番美味しかったのはトマトチップス! 石川 淳子さん (進学コース1年)

積極的に話しかけることが広がった。ここで会話をできた友達が今年、札幌に来るかも!? 大黒 唯加さん (進学コース2年)

初めてのホームステイでした。本当に楽しく帰る時は涙のお別れ。 松本 浩さん (進学コース2年)

また会いに行きたい。



射撃部

祝! 全国大会出場!



普通科 特別進学コース2年 向陵中学校 出身
林保 ゆらさんに聞きました!

今までやったことのない部活動にチャレンジしたく、射撃部に入学しました。北科大高の射撃部は、男女問わずみんなの仲が良く、明るい雰囲気、明るい雰囲気。仲間同士でアドバイスをし合いながら、部員同士で切磋琢磨しています。平日は19時まで練習を行い、部活が終わった後は自習室で勉強。土日の部活動は午前中だけなので、午後の時間を活用するなどして、部活動と勉強の両立を図っています。大会で目標にしていた500点以上を出すことができました! 今後は、540点以上を出すのが目標です!



▲大会の様子。みんな真剣そのもの。

近年の戦績

- 令和4年度 北海道選手権大会 BP60WJ 第1位
- 令和4年度 全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会 東北・北海道ブロック予選会 第2位

今年3月に福井県で開催される「第42回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会」への出場権を獲得!



全国大会への切符を手に入れました!

ACTIVO

北科大高生の学校生活を
紹介する「ACTIVO」(アクティボ)。
部活動から学校行事まで幅広くご紹介!

科学部

初の! 全国大会出場決定!

「玉繭ができる最適条件」を調査!



通常、1頭の蚕は1つの繭を作りますが、稀に、2頭で1つの繭を作ることがあり、その時にできる繭を「玉繭(たまご繭)」と呼びます。玉繭から作る生糸には「節」があり、独特の風合いが醸し出されるため、絹壁紙や高級織物などに使われます。しかし玉繭ができる個数は少なく、また玉繭ができる条件が正確に判明していないことから、その解明の調査を開始しました。これまでの調査結果で、蚕が繭を作る際の区画=族(まぶし)のサイズは、3.3×3.3cmの時に繭ができる割合が高いこと、また、ヘアの片方が両方が♀であることが、玉繭のできる割合が高くなるということがわかりました。今後は、蚕の品種や族の間隔、温度や湿度などの室条件を解明できるように調査を行う予定です。



▲高文連(オンラインで実施)での発表の様子



研究のきっかけ

顧問の先生から、「繭を買うので実験してみない?」と部員に話があり、生き物が好きだったので「やってみよう」と思ったのが、研究を始めたきっかけです。生き物は好きでも虫は苦手なので、慣れるまでに時間がかかりました(笑)。

全国大会への意気込み

高文連の全道大会で総合賞をいただいたことにも驚いたのですが、まさか全国大会への推薦を受けられるとは思っていませんでした。全国大会は強豪校揃いですが、良い発表ができるように頑張ります!

今後への思い

調査数が多く、生き物が相手だったので苦労することも多かったのですが、「自分の専門」と言えるものに出会えたことが自信になりました。玉繭の研究はまだ奥が深いので、今後後輩たちが引き継いで、北科大高の名物企画として育てていってくれたら嬉しいです。

部長の
一
嶺本 菜寧さんに
聞きました!



普通科 進学コース2年 石狩市立花川南中学校出身

▲今年7月に鹿児島県で開催される、第47回全国高等学校総合文化祭(自然科学部門)に出場。

オーストラリア語学研修

2023年1月21日(土)▶▶30日(月)

総勢10名の生徒が参加したオーストラリア語学研修。初日のキュランダツアーを経て、翌日から語学研修がスタート。英語漬けの日々に苦労しながらも、ホームステイ先や他国からの留学生とも積極的に交流する姿が見られました。最終日は世界自然遺産のグレートバリアリーフ(グリーン島)で1日過ごし、充実した研修旅行を終えました。

オーストラリア語学研修は、本校の卒業生である(株)住協ホールディングス 代表取締役社長 安永久人氏のご寄付による奨学金を活用した留学制度です。



今回の留学が初海外。とても楽しかった。次はヨーロッパに行ってみよう! 上野 悠生さん (特別進学コース2年)

友達と海外に一緒に旅行するのが楽しかった! 使った英語は「Oh, Really?」 渡邊 花さん (特別進学コース2年)

思い出に残っているのは、語学学校での卒業スピーチ。映画のワンシーンのような感じがして、感動しました! 加賀 真一さん (特別進学コース1年)

海外では空港でもスーパーでも気軽に挨拶してくれて、フランクを見てみたい! と感じました。 岩田 航英さん (特別進学コース1年)

言葉が通じるとか、お水が美味しいとか、留学したことで感じる日本の素晴らしさを再発見。 武田 有納さん (進学コース2年)

めずらしい動物や鳥を見ることができた。家の中でカケの尻尾を見た時にはビックリ! 灰野 沙実さん (特別進学コース2年)

水泳が好きなグリーン島では、かめの水着で泳ぎました(笑)。次はダイビングをしたい! 高橋 百さん (特別進学コース2年)

日本人って英語が苦手って言うけど、簡単な英語でも十分通じる。チャンスがあるなら海外へ! 池知 柚菜さん (特別進学コース2年)

写真を撮るのが好きなので、一眼レフを持参。グリーン島で、人生で一番良い写真が撮れました。 山本 泰誠さん (進学コース1年)

「母国語を話すなら家に帰れ!」という決まりがあって、1日中、英語でした! 藤平 乃愛さん (特別進学コース2年)

to Australia

2023.4. Move!

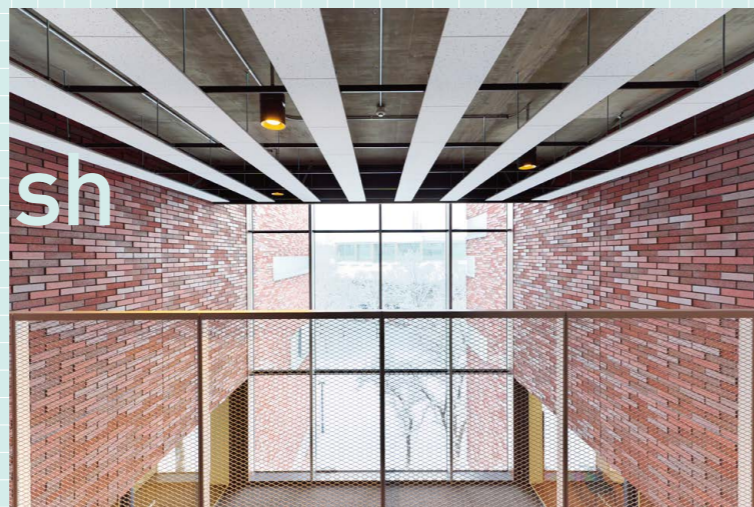
生徒の新たなミライを創造する
新キャンパスを
一挙公開!



50年以上もの間、中の島の地で親まれ、数多くの卒業生を輩出してきた、北海道科学大学高等学校。この春、校舎を北海道科学大学のある手稲区前田に移し、新たなキャンパスライフが始まります。みなさんに先駆けて、新築ピカピカの校舎を一足早くリサーチしてきました。“学校”のイメージを超える、ユニークで斬新な新キャンパス。手稲の地で、新しく始まる高校3年間で、思う存分楽しんでください!!

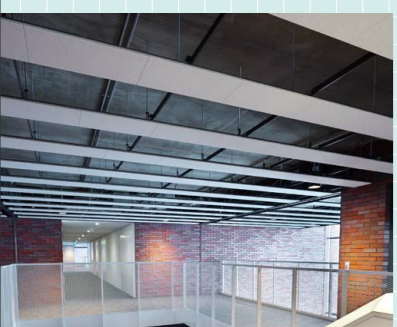


Stylish



1階から4階まで、吹き抜けが複雑に重なり。デザイン性はもちろん、自然の力で空気が循環するエコな校舎。

アングル次第で美術館のようにも見えます! お気に入りのスポットを探そう!



職員室



教室



ロッカー

広々とした職員室。賑わいが生まれるまでもうすぐ。

白で統一された清潔感のある教室。教室の出入口のそばには個人ロッカーを完備。



Open Space

新校舎には廊下という概念がなく、教室の外には多彩なオープンスペースが広がります。フロアが近く、コミュニケーションをとりやすいのも大きな特徴。

手稲前田キャンパス



新校舎

お楽しみに!



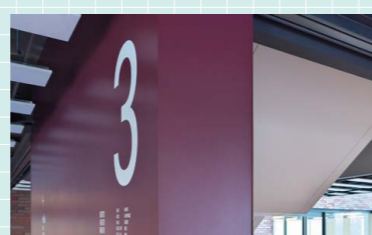
メインアリーナ

屋根部分の構造骨組みが見えるように作られたメインアリーナ。建築に興味のある人は是非チェックを。



化粧室

清潔感のあるWC。身だしなみもしっかりと。

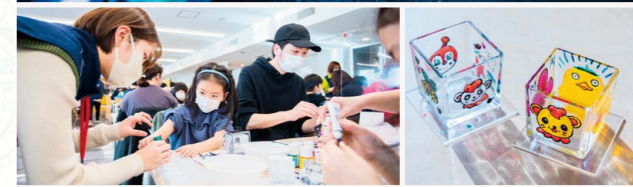


INFORMATION

北科大掲示板

HUSキャンパス・イルミネーション

12月2日(金)～25日(日)の期間、今年で6年目となるHUSキャンパス・イルミネーションを開催しました。HUSキャンパス・イルミネーションは北海道科学大学の開学50周年記念事業として2017年から開催し、今年は3年ぶりに多数の参加型イベントを開催しました。スタンドグラスアーティストで本学客員教授を務めるMie氏がプロデュースするスタンドグラスをあしらった14本の光のオブジェと光のアートがメインプロムナードやバス停などキャンパスを彩りました。また、日本を代表する万華鏡作家、依田満・百合子夫妻が手掛ける投影型万華鏡が校舎壁面に投影され、幻想的な雰囲気演出されました。屋内ではHUSクラブミュージアムと題し、文化系クラブを中心とした学生の作品が学内各所に展示され、来場者の目を楽しませました。期間中はさまざまなイベントを開催し、キャンドルホルダーワークショップやHUSウィンターワークショップDAYは、どちらもすぐに定員に達する盛況ぶり、多くの方に足を運んでいただきました。参加者が作成したキャンドルホルダーは、イルミネーション開催期間中、中央棟(E棟)ホールで展示されました。そのほか、Winter Night Loungeと題し平日の午後5時からショートフィルム上映会、学生によるHUSクラブパフォーマンス、芸森スタジオからアーティストを招きHUSクリスマスコンサートを開催しました。



2022を開催しました!

北科大高の「最大の特徴」って何だ?

Part.4

新校舎と
新カリキュラムが
合体する時、

北海道初の
**理想の
学び場**
が生まれる!

圧倒的にユニークな
校舎と多様な空間!

- ◎「高校はみんな同じ!」なんて決して言わせない! ▶ 生徒の個性を環境が育てる!
- ◎「大学と同じ一足制」▶ 校舎の内と外の融合が、活動と発想のスケールを拡大する!
- ◎「最先端でエコな空調」▶ 快適な空間がアクティブな活動を生み、エコな空調がSDGsへの思いを強める!
- ◎「フロアごとの多様な空間」▶ クラスや学年を超えた生徒相互の多様な交流が、新しい学校生活を創造する!
- ◎「大学生と一緒に食堂やコンビニを使う」▶ 説明の必要なし!

多様な選択を通して自分の
進路を自己決定する!

- ◎「言われたことをやるだけ」では、成長は望めない! ▶ 自分の人生は自分で決めよう!自分で掴もう!
- ◎「進路希望に応じた3つのコース制」▶ 「目指す道」が「やるべきこと」を決めさせる!
- ◎「得意を伸ばす総合選択」▶ 「得意なこと」で「その道のプロ」を目指す!
- ◎「探究内容は自分で選択」▶ さまざまな道の「Professional」との出会いが、自分の未来を見せてくれる!

充実した放課後が、自分らしい将来を
見つけるきっかけをくれる!

- ◎「自分で自分の時間を動かす放課後」には、「新たな自分」を見つけるチャンスが潜んでいる! ▶ 挑戦あるのみ!
- ◎「充実の部活動」▶ 「自分なりの目標」の決定が、多彩な部活動の中から君のベストを選択させる!
- ◎「自学自習空間の充実」▶ 「100周年記念会館(旧大学図書館)」は高校生にも完全開放! 自分に合った自学スペースを!
- ◎「大学生との協働」▶ 行事やサークルなど、大学生との協働で一足早い「大人体験」! (*※具体内容は検討中です)